

# プライマリーケアのアナフィラキシー処置

## First&Fast

- ・スタッフ / ☎119Call⇒救急カート
- ・仰臥位 / 気道確保 / 下肢挙上

## 緊急薬

- ・ボスミン®(0.1%エピネフリン)筋注  
0.01ml/kg/1回(5~15分で反復可)  
(上限:乳児0.1ml/1回、学童0.3ml/1回)

## 酸素

- ・SpO<sub>2</sub>チェック / 酸素投与

## 静脈確保

- ・生食輸液 / ソリタT1®
- ・ハイドロコーチゾン100mg静注  
(ソル・コーテフ®orサクシゾン®)

## 吸入

- ・喘鳴時  
ベネトリン® or メプチン®  
各0.1~0.5mlを生食1mlとともに吸入

### 【注意事項】

- 静脈確保に時間をかけすぎない。エピネフリンの投与、反復投与が遅れてはならない
- エピネフリンは、皮下注よりも筋注の方が効果は大
- 呼吸停止時などCPR(心肺蘇生)介入、AEDも

### 【緊急機関の☎番号】

- 救急医療機関 : 1 : \_\_\_\_\_  
2 : \_\_\_\_\_  
3 : \_\_\_\_\_
- 医 師 会 : \_\_\_\_\_
- 保 健 所 : \_\_\_\_\_
- 警 察 署 : \_\_\_\_\_
- 消 防 署 : \_\_\_\_\_

# 意識レベル評価法

■ JCS (Japan Coma Scale 3-3-9度方式)		■ 乳幼児 JCS (3-3-9度方式)	
I 刺激なしでも覚醒			
1 ほぼ意識清明だが、今一つはっきりしない	2 見当識障害あり	3 名前・生年月日が言えない	
II 刺激すれば覚醒			
10 普通の呼びかけで容易に開眼	20 大声、体のゆさぶりで開眼	30 痛み刺激でかるうじて開眼	
III 刺激しても覚醒しない			
100 痛み刺激をはらいのける	200 痛み刺激で手足を動かす、顔をしかめる	300 痛み刺激に反応しない	
			1 あやすと笑うがしっかり声を出して笑わない 2 あやしても笑わないが、視線は合う 3 母親と視線が合わない 10 飲み物を見せると飲もうとする 20 呼びかけると開眼して目を向ける 30 呼びかけを繰り返すとかるうじて開眼する 100 痛み刺激にはらいのけるような動作をする 200 痛み刺激で少し手足を動かしたり顔をしかめる 300 痛み刺激に反応しない

■ Glasgow Coma Scale (Total score : good : 15 ~ 3 : poor)				
EVM	score	成人	小児	乳児
開眼 (Eye)	4	自発的に開眼	⇒	⇒
	3	呼びかけに応じて開眼	⇒	⇒
	2	痛みに応じて開眼	⇒	⇒
	1	なし	⇒	⇒
言語反応 (Verbal)	5	見当識のある会話	見当識のある会話、適切	クークーという声と片言話
	4	混乱した会話	⇒	易刺激的、啼泣
	3	不適切な言葉を発する	⇒	痛みに応じて啼泣
	2	理解不能な発声	理解不能な発声または意味のない発声	痛みに応じてうめく
	1	なし	⇒	⇒
運動反応 (Motor)	6	指示に従う	⇒	自発的に目的を持って動く
	5	部位を示す	痛み刺激の部位に手足を持ってくる	触れると逃避する
	4	逃避	痛みに応じて逃避する	⇒
	3	四肢異常屈曲	痛みに応じて四肢を屈曲する	痛みに応じて除皮質姿勢をとる (四肢異常屈曲)
	2	伸展反応	痛みに応じて四肢を伸展する	痛みに応じて除脳姿勢をとる (四肢異常伸展)
	1	なし	⇒	⇒